

笠岡市城見地区 茂平

…ウォーキングコース
約1時間30分

かつては大宜の支配下に置かれ、貧しさと戦いながらも、海を切り拓き干拓によってたくましく発展してきた歴史を持つ地区です。

PICK UP!
01 歴史スポット
ぜひ足を運んで欲しい
寺社

茂平の街と広大な干拓地を一望する高台の社

八幡神社

かつての海と現代の街並みを見下ろす特等席

海上安全や大漁繁栄の神様

100段の石段を登りきると広がる、茂平の街並み。かつて足元まで海が広がっていたこの丘は、1964年に古代の石棺や人骨(宮山古墳)が発見された、古い土地です。



A

男と女で対になっている珍しい札所です。

茂平(新) 四国八十八ヶ所霊場

茂平の霊場は、四国八十八ヶ所を模しています。札所は茂平の集落内の各所に分散して配置されています。八幡神社の境内にも、いくつかの札所(石仏)が設置されています。

塩崎さん 塩崎さん ※塩崎神社とは別です

屋根に踊る「鯛の瓦」が特徴

漁師たちが大漁を祈願



B

見晴らしよし!

八幡神社

A

千手観音

海から波に揺られて漂着したと伝わる神秘的な伝説

諸願成就 (あらゆる願いを叶える)



千手観音

C

荒神社

4年に一回、神楽の開催

神社は斜面になっていて、住民が神楽を見やすい地形になっています。地元の伝承では、神社の裏から高田氏の土地に通じる道があったとか…。



F

春は桜が綺麗です



塩崎神社 稲荷神社

H

PICK UP!
02 石碑や土手
ぜひ足を運んで欲しい
干拓の歴史

イナ取り (現在のグラウンド辺り)

夏休み明けの9月、茂平の土手は人波で溢れました。海水が抜かれ浅くなった海へ、遠方から自慢の竹カゴを積んで集まった大人たちが一斉に飛び込みます。大人も子供も泥まみれで「イナ」を追う、笑い声弾まる秋の大お祭りでした。



塩崎神社

海の最強まもり神

ご祭神は豊玉彦命と豊玉姫命は、日本神話の「海幸山幸(つみさちやまさち)神話」に登場する、海の神(竜宮城の神様)です。新しく作った干拓地を、海の災害から守るために海の神様を呼んで祀ったと言われています。

稲荷神社

八幡神社の「御旅所(おたびしょ: 祭礼の際、神輿が巡行の途中で休憩・宿泊する場所)」としての役割、あるいは地域の平穏を願って社が守られている場所となっています。



茂平護岸工事記念碑

海を陸地へと変えた、先人たちの血と汗の結晶

砂川改修記念碑

地域の人々の暮らしと田畑を守るため、川の流れそのものを大きく変えて新しく水路を通すという、当時としては一大国家事業並みの大工事が行われました。

砂川記念碑



荒神社

F

八大龍王

G

とんまん土手

E

とんまん土手

かつて海を遮っていた「苦無」の古い潮止め堤防跡



八大龍王

G

八大龍王

通称「りおうさま」

茂平の八大龍王は、かつて潮が満ちると海底に沈む位置に祀られていた「海の龍王」。石を動かすとりおうさまがお怒りになり、雨を降らせるといいます。

